

沖縄のこと、もっと知りたくなりましたか？

部門展示室のご案内

学芸員イチオシの
各展示物もお見逃しなく！



自然史部門展示室

地学



沖縄の様々な岩石と化石たち

岩石や化石は、島の成り立ちを語ります。
琉球石灰岩は琉球列島にしか存在しない
貴重な岩石です。様々な化石を含みます。

生物



沖縄島北部(ヤンバル)の 生物群集ジオラマ

2021年に世界自然遺産に登録された沖縄
島北部と西表島の固有種たちを探してみ
てください。(西表島のジオラマも見てね！)

人類



港川人1号の全身復元模型

港川人1号の全身骨格に基づいて製作され
ています。近年明らかにされた港川人の形
態的な特徴(オーストラロ・メラネシアンに
近縁)、食べ物(オオウナギやモクスガニ)、
装飾品(貝製ビーズ)についての新知見が模
型に反映されています。

考古部門展示室

螺形骨器(複製)



金属がない時代(4000年~3000年前)に細かな彫刻がほどこ
されています。沖縄縄文人の技術は我々の想像をはるかに超えて
いたことがわかる一品です。

美術工芸部門展示室

琉球・沖縄の染織

色鮮やかな紅型や涼しげな
芭蕉布、技巧を凝らした絣など、
豊かな染織品をご紹介します。



(白地流水文様地に桜葉蕉葉小鳥模様の衣類(19世紀))

歴史部門展示室

首里那覇港図屏風



こちらの屏風は19世紀に描かれたものです。首里城や港だけでなく、
王国時代の人々の様子を現在と比べてみてください。

民俗部門展示室

テル(背負い籠)

カゴの編み目に込められ
たものづくりの技は必見
です！カゴの底や側面に
注目！

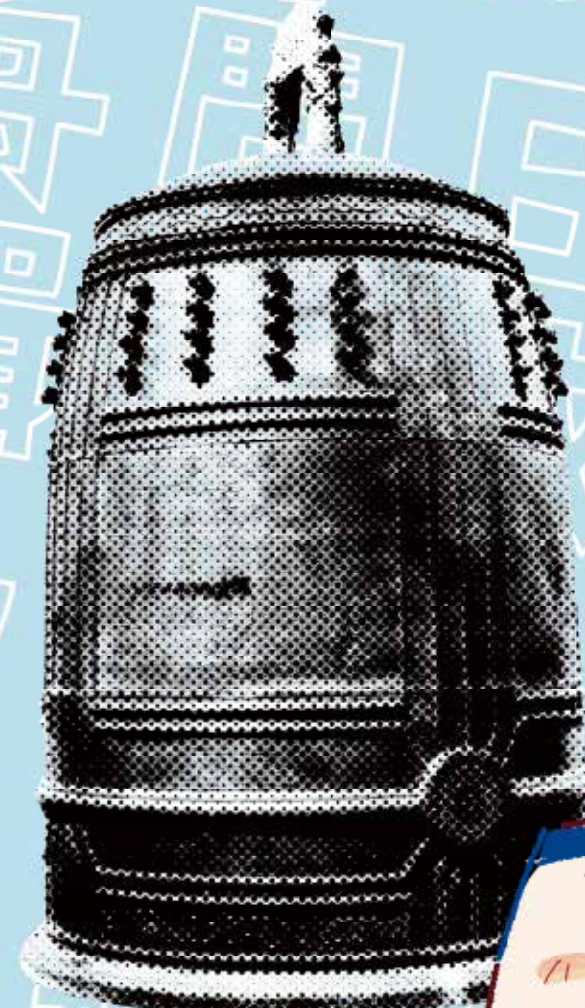


対象：高校生以上

1時間で旅するシート

沖縄2億年の歴史を

見るたび
知るたび
あなたの沖縄に出会う旅



旧首里城正殿鐘
(万国津梁の鐘)



※美術工芸・歴史部門展示室は、年に数回展示替えをしています。



沖縄の歴史ざっくりコース

沖縄の歴史をまずはシンプルに知ろう！
時代の流れ順に → → → に沿って歩こう!!

6 沖縄の近代

1872年の廃藩置県後、明治政府は琉球王国を日本の一部にするように圧力を強め、1879年に約450年続いた琉球王国が滅亡し沖縄県となります。王国時代の旧慣は残しつつ、近代文化が進みました。1945年の沖縄戦では多くの人命だけでなく貴重な文化財が失われました。



⑥「致和」扁額

沖縄の重要な文化財が米軍のトイレに用いるため穴がけられた

7 戦後の沖縄

沖縄は戦後から日本復帰(1972年)までの27年間、アメリカの統治下におかれました。沖縄島の15%が基地となる一方でアメリカ文化も身近なものとなっていきます(アメリカ世)。その後、復帰運動が高まり、沖縄の施政権が日本に返還され、新生沖縄県がスタートしました。



⑦戦後流通したBPO

米軍が発行した通貨で、沖縄で使用された

序章 海と島に生きる

沖縄の地史は約2億年前までさかのぼることができます。沖縄は現在に至るまで海との関わりが深く、その中で独自の自然、歴史、文化が育まれてきました。沖縄は化石の宝庫と言われ、琉球石灰岩の大地からは様々な化石が見つかっています。

1 海で結ばれた人々

沖縄の島々はサンゴ礁の海に囲まれています。貝塚時代(先史時代)の人々もこの豊かな海の恵みを得ながら、生活を送っていました。当時の遺跡から貝や貝製品が出土しており、この頃から日本本土や中国などの周辺地域と交流を始めていたことがわかります。

①貝輪

九州で出土した沖縄産の貝製品。貝の交易が盛んだったことがわかる。(佐賀県立博物館所蔵)



2 貝塚のムラから琉球王国へ (琉球王国時代のはじまり)

11世紀頃から沖縄島では農耕が盛んになります。13世紀ごろには各地に按司と呼ばれる権力者達が現れ、城(グスク)を築き、やがて北山・中山・南山(3つの国)に分かれて争いを繰り返しました。1429年、ついに中山の王が三山を統一し琉球王国が誕生します。



②鎧の金具

争いに使われた刀や鎧は日本からもたらされたもの



「万国津梁」とは、「世界の架け橋」という意味で銘文にも刻まれている
当館一番の目玉展示です

③旧首里城正殿鐘
(万国津梁の鐘)

【備考】中国(明・清)と君臣関係を結び、その地域の統治が認められること。

3 王国の繁栄

琉球王国は独自の国家として成立しましたが、王統の交代が起こるなど、国内の権力基盤が不安定だったため、より強固な国家体制の構築を目指しました。また、14世紀末以降、中国(明)との冊封・進貢貿易を確立していた琉球は、東アジア有数の貿易国家として繁栄しました。その様子は、旧首里城正殿鐘(万国津梁の鐘)の銘文にも謳われています。

4 薩摩の琉球支配と琉球王国

琉球は、1609年の薩摩軍の侵攻によって日本の影響下に置かれた一方、中国との冊封・進貢関係は引き続き維持されました。羽地朝秀や蔡温等の政治家によって国家の経営や体制が再建・整備されるとともに、漆器などの工芸品の成熟、「中山世鑑」などの歴史書の編纂、組踊の創作など、様々な琉球文化が花開きました。

【中山世鑑】尚質王の命を受けて1650年に羽地朝秀が編纂(へんさん)した琉球最初の正史。



④錠十五条

薩摩藩が琉球を支配するためにまとめた15の基本方針が記されている
(東京国立博物館所蔵 Image:TNM Image Archives)

5 王国の衰亡

19世紀に入ると農村の疲弊や首里王府の財政難等が原因で、国家経営の行き詰まりが顕著となりました。さらに、アジア進出を目指す欧米諸国が琉球に押し寄せ、琉球は危機的な状況に陥りました。



⑤旧大安寺鐘(護国寺の鐘)

国王からベリへ贈ったこの鐘は、戦後沖縄に戻ってきた

歴史部門展示室

美術工芸部門展示室

民俗部門展示室

考古部門展示室

自然史部門展示室

受付

出口

近代沖縄
1879年 ~ 1945年

近世沖縄
1609年 ~ 1879年

戦後沖縄
1945年 ~ 現在

貝塚時代(先史時代)
7000年前 ~ 12世紀頃

グスク時代/三山時代
12世紀 ~ 1429年

琉球王国時代
1429年 ~ 1609年